

## 夏季間酷暑を受けての熱中症対策について

認定 NPO 法人大東市青少年協会  
キャンピィだいとう（大東市立野外活動センター）  
センター長：中田 葉子  
JL 担当職員：今岡 茉都

平素は認定 NPO 法人大東市青少年協会の活動にご理解、ご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。今年度の夏も酷暑が予想されます。炎天下時のキャンプ活動の対応（熱中症対応）を厳戒態勢で職員・ボランティアスタッフが対応させていただきます。またキャンプ活動時における疑問点・不安点等ありましたら何なりとご質問ください。保護者の方ひとりひとりの不安点を払しょくした上で当日参加することも達し、楽しい体験を提供できるように努めてまいります。子ども達の安全第一で取り組んでいきますのでよろしくご願いたします。以下にキャンプ活動時の職員とボランティアリーダー達に周知している熱中症対応は下記の通りです。ご一読ください。

### 記

#### 【ハイキング時】

※キャンパー＝参加者・子ども達

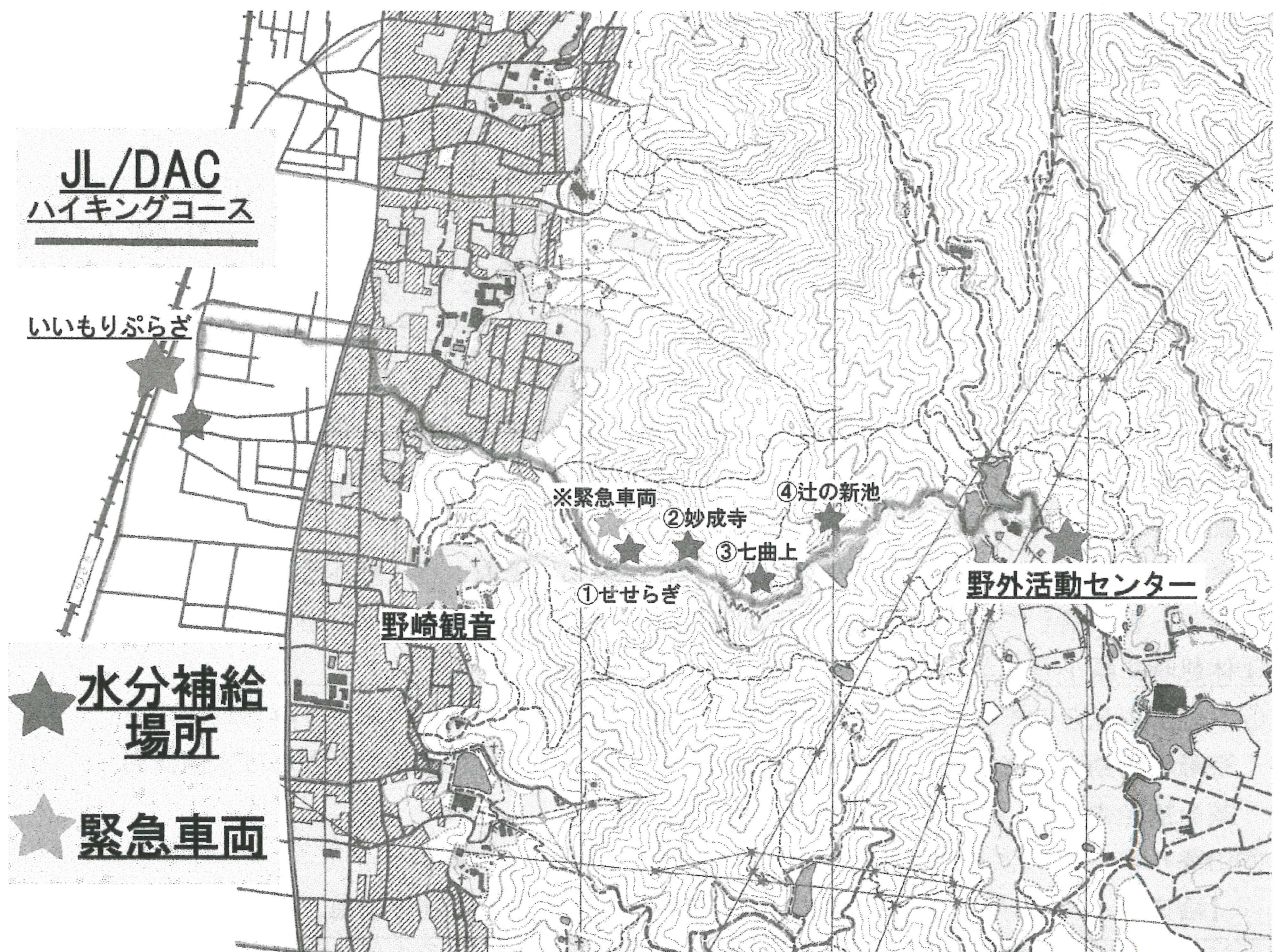
- ① 小学生の熱中症の半数以上が朝ご飯を食べてない人がなっている。山登り中のアイスブレイクで、食事を食べたかを確認して、食べていないキャンパーには特に注意する必要がある。
- ② 霧吹きミストを各班分購入してハイキング時・集合時・休憩時などにシュッシュとキャンパーにかける。（体の表面を濡らすことで熱を下げる。霧吹きは楽しい演出にもなる）  
※野外活動センターの野外テーブルと自炊場の間にはミストの装置も配置してある。起床時から就寝時までミストは稼働したままにする。
- ③ 食塩（タブレット）でもいいので塩分ミネラルを必ず摂取する。野外活動センターには塩分タブレットを常備している。山登り・下山時にはキャンパーにタブレットを支給する。
- ④ 休憩時に帽子をぬがせ熱を発散させる（頭部に熱がこもるため）。
- ⑤ 水分は少量をこまめに補給する（一度に大量に摂取しても効果はあまりみられない。）  
※野外活動センターには常時麦茶を準備している。水筒のお茶がなくなれば水筒にお茶を補給する。
- ⑥ 山登り中、20分に一度の休憩をとる。（木陰の下等涼しい場所）  
【絵日傘ハイキングコース】①せせらぎ②妙成寺③七曲上④辻の新池、4か所で必ず休憩を確保し、水分補給・帽子をとる・ミストの吹きかけを徹底する。その他必要であれば適宜休憩する。
- ⑦ 山登り中に参加者のお茶がなくなったら、配備している無線で野外活動センターと連絡をとりあい野外活動センターから職員又はリーダーが補給する。
- ⑧ 山登り時の緊急車両の配置は従来通り行う。七曲下まではせせらぎに駐車してある職員の車で

う。七曲より上ならば、ファーストエイドを行いつつ、野外活動センターと連絡を取り合っ、職員が必要な処置をとる。(救急車の手配等)

⑨汗を大量にかいた後はスポーツドリンクで水分補給。体調不良のこどもは経口補水液。活動時の主な水分補給は麦茶とする。天候と体調をみながら経口補水液の摂取を行う。

### 【キャンプ活動時】

- ① 避難先として集会室、保健室にエアコンをつけておく。
- ② 入所式も従来のポール前でなく涼しい所で行う。(木陰の下、シニアの森、集会室等)
- ③ 水分は少量をこまめに補給する。(一度に大量に摂取しても効果はあまりみられない。)
- ④ 休憩時に帽子をぬがせ熱を発散させる。(頭部に熱がこもるため)
- ⑤ キャンパーに「しんどい?大丈夫?」と聞かない。こども達は「大丈夫。」と答えます。状況・体調から判断し必要であれば休憩をとる。少しでも気にかかるキャンパーがいる場合必ず職員の判断を仰ぐ。キャンパーは体調不良時、自己判断ができないことを認識しておく。命を守るのは大人(職員・リーダー)です。



### 【飯盛山ハイキングマップ：緊急車両・水分補給休憩ポイント】

以上

令和4年7月吉日

保護者 各位

特定非営利活動法人 大東市青少年協会  
理事長 川崎 果林

## キャンプにおける新型コロナウイルス感染症対応について

平素は当協会の活動にご理解、ご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。令和3年度は、新型コロナウイルス感染症流行により一部活動を自粛しましたが、令和4年度は昨年度に引き続き大阪府の新型コロナウイルス感染症対策と『野外活動における新型コロナウイルス感染症対策マニュアル』に従い、キャンプ活動を実施させていただきます。以下の通り、活動時の新型コロナウイルス感染症対応を実施します。活動に関して、疑問や不安に思われることがありましたら、ぜひお知らせください。みなさまが安全に、学び・集える場所づくりに取り組んで参ります。

### 【事業実施判断基準について】

- ・大阪府のイベント実施判断に基づき右の表の通り活動を実施します。
- ・社会の情勢で判断基準が変更になる可能性もあります。

<p>■まん延防止重点処置 発動時 →1,000人以上のイベントは中止</p> <p>■緊急事態宣言 発動時 →全事業中止</p>
---

### 【参加者の皆様をお願いしたいこと】

- ①事業当日、集合時の検温を行います。37.5℃以上の発熱がある・咳などのかぜの症状がみられる場合、保護者の方に連絡させていただきますので、お迎えか帰宅の指示をお願いします。当日の朝、お子様に少しでも体調不良が見られる場合は、参加を控えるようお願いいたします。
  - ②同居家族内に、体調不良（発熱・味覚障害・頭痛）の方がいらっしゃる場合は、参加できません。
  - ③活動中にマスクを着用しますのでご持参ください。集合時からマスクの着用をお願いします。
- ※熱中症対策について
- 活動中は原則マスク着用ですが、熱中症予防のため野外での活動中は、職員が気温やリーダー達の体調を観察しコロナ感染症対策を講じ、適宜マスクを外す指導を行います。また、例年通り常に水分や塩分が補給できるよう手配します。
- ④活動中は手洗い・アルコール消毒を徹底します。アトピーなどでアルコール消毒等が難しい方は各自ご用意ください。
  - ⑤期間中、体調不良の場合は連絡させていただきます。迎えに来ていただくこともありますのでご在宅ください。
  - ⑥もし近親者に濃厚接触者が出た場合、濃厚接触者でない方が、至急お迎えに来てください。

### 【当団体が実施・配慮すること】

大東市の野外での新型コロナ感染拡大防止基準をもとに活動を行います。

- ①集合時、担当者が随時検温を実施します。
- ②基本的に登山時は、熱中症のリスクが高い場合マスクは着用しません。間隔をあけて登山を行います。

- ③『密集・密接・密閉』の3密を避けるため野外での活動を中心に行います。  
但し、炎天下での長時間の活動は避け、集会室を休憩場所・避難場所として使用します。その際は換気を行い、密閉空間にならないよう行います。
- ④活動に入る前に、コロナ感染のリスクを避けるため、『手洗い手指消毒』『咳エチケット』等注意する事項を、参加者とリーダーで確認します。
- ⑤マスク着用の際は、熱中症のリスクに注意し、常に水分や塩分が補給できるよう手配します。  
適宜間隔を空けた休憩時間を設けます。
- ⑥場内には常に手指の消毒ができるように、消毒用のアルコールを設置します。
- ⑦野外テーブルなど、人の手が触れる場所については、キャンピィだいとうスタッフが消毒を適宜行います。
- ⑧自炊時には、ソーシャルディスタンスに気を付けて人の配置を行います。
- ⑨対面での飲食は避け、個食に分けて配膳します。
- ⑩就寝前にも検温を行い、3密を避けるため、収容人数を減らし、間隔を空けて就寝します。  
また熱中症にも配慮し、空調を入れながら換気を行います。
- ⑫体調不良者は、速やかに医務室で対応します。熱等ある場合、すぐに保護者の方に連絡を取りお迎えに来ていただきます。

○新型コロナウイルス感染症対応についての研修を行い、参加者の対応時にリスクが無いよう活動します。

○職員が、パトロールなどを行い、リーダーの安全に配慮します。

何卒、『新型コロナウイルス感染症対応』をご理解の上、参加していただけますようお願いいたします。

リーダー養成事業担当  
大東市立野外活動センター  
館長 中田 葉子

(電話) 認定 NPO 法人 大東市青少年協会  
青少年ルーム 072 - 874 - 5165  
(携帯) 090 - 5137 - 5732